

令和4年度

大学院医学系研究科

医科学専攻（博士課程）

秋季入学

学生募集要項

（令和4年10月入学）



目 次

まえがき	1
岐阜大学大学院医学系研究科の教育研究上の目的	2
医科学専攻（博士課程）アドミッション・ポリシー	3
I 医科学専攻（博士課程）学生募集要項	
1. 募集人員	4
2. 講座・分野	4
3. 入学時期	5
4. 出願資格	5
5. 出願資格の認定	5
6. 出願手続	7
7. 入学者選抜方法	9
8. 合格者発表	9
9. 入学手続	10
10. 入試結果の情報開示	10
11. 個人情報の取扱い	11
II 障害のある者等の出願にあたっての事前相談	11
III 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施 について	11
IV 長期履修制度について	12
V 研究指導教員及び研究内容	13
VI 過去5年間の入試統計	22

(出願書類)

ま え が き

超高齢化社会の到来，ヒト遺伝子解読の終了等，21世紀が始まった現代社会の急速で著しい生命科学の変容に的確に対応するためには，知の再構築と新たなパラダイム（時代を反映する思想・考え方）の創出が焦眉の課題となっています。

本研究科では，最新の医学研究及び高度な技術開発を推進しており，より高い研究能力・技術開発能力・臨床能力の養成を進めています。平成12年度からは社会に開かれた大学院の実現を目指し，社会人を対象とした昼夜開講制を導入し，夜間や特定の時間又は特定の時期に大学院の授業・研究指導の時間を設け，現に診療にあたっている開業医や病院勤務医並びに官公庁等に勤務する医学及び医学関連分野の研究者等に大学院の授業・研究指導を受け易くしています。

また，自由度の高い履修が可能なカリキュラムを設定するとともに，研究指導教員・研究助言教員による複数指導体制を導入するなど，学生の立場に立った教育研究を行い，学生・教員が一体となって国際的に評価される独創的な研究を進めます。

岐阜大学大学院医学系研究科の教育研究上の目的

岐阜大学大学院医学系研究科は、設置している課程や専攻に則した教育を行う教育機関として次のとおり教育研究上の目的を定め、実施する。

医科学専攻にあつては、高度で先進的・学際的・創造的な探求心を持続し、人間性豊かな教育者及び研究者並びに先端医療の知識・技術のみならず研究遂行上不可欠な倫理観をもつ臨床医を育成することを教育上の目的とします。

看護学専攻にあつては、看護における研究課題の探求資質をもち、倫理観や科学的思考力に裏打ちされた高度な看護を实践できる資質をもった人材を育成することを教育上の目的とします。

医療者教育学専攻にあつては、グローバルな視野をもちつつ、ローカルな視点から、医療の質向上に寄与する医療者教育を展開し先導するため、多職種の人材と連携し、医療者教育を設計・実践・改善・発信できる能力のあるリーダーを育成することを教育上の目的とします。

このように教育機関として人材育成を推進するとともに、地域の医療機関の先導的機関の役割を担いながら、国内外の医療機関及び教育機関や研究機関との交流や相互理解を深め、倫理観のある先端医療の研究機関の一翼を担います。

医科学専攻（博士課程）

アドミッション・ポリシー

【教育目標】

医科学専攻では、医学研究と医療における国際的通用性の高い人材養成システムの確立、研究成果の地域並びに国際社会への発信と展開及び生命医科学研究の臨床医学への応用等を達成し、高度先進医学・医療の発展という社会のニーズを実現するための教育研究体制の確立を目標としています。

それにより高度で先端的・学際的・創造的研究を推進し、将来の医学を担うリーダーとなるべき優れた生命医科学研究者・臨床医学研究者・生命医科学教育者及び高度な医学的素養を身に付けた臨床医並びに急速に発展している現代医療に対応できる医療行政専門家を養成します。

【求める学生像】

- ①本専攻の教育理念、教育目標に向けた確固たる目的意識をもち、
- ②その分野の研究をする上で必要な幅広い基礎学力を備え、
- ③課題探究心と柔軟な発想に長け、
- ④これからの地域や国際社会でリーダーとして活躍し、医科学に貢献できる実行力があり、
- ⑤倫理観に裏打ちされた研究ができる、

学生が入学することを期待します。

I 医科学専攻（博士課程）学生募集要項

1. 募集人員 若干名

2. 講座・分野

講 座	分 野
生 命 原 理 学	解剖学
	生理学
	分子病態学
	神経生物学
	薬理病態学
	再生機能医学
生 命 秩 序 学	高次神経形態学
	細胞情報学
	形態機能病理学
	法医学
	生命機能分子設計学
生 命 関 係 学	寄生虫学・感染学
	病原体制御学
	腫瘍病理学
	疫学・予防医学
	医学系倫理・社会医学
	産業衛生学
	医学教育学
	医療経済学
内 科 学	消化器内科学
	臨床腫瘍学
	循環器内科学
	呼吸器内科学
	血液・感染症内科学
	糖尿病・内分泌代謝内科学
	膠原病・免疫内科学
	腎臓内科学
	総合診療科・総合内科学
	心臓血管外科学
外 科 学	呼吸器外科学
	消化器外科・小児外科学
	乳腺外科学
	脳神経内科学
脳 神 經 科 学	脳神経外科学
	脳病態解析学（連携大学院）
	精神医学
	整形外科学
感 覚 運 動 医 学	リハビリテーション学
	皮膚科学
	形成外科学
	眼科学
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
	口腔外科学

講 座	分 野
生 体 管 理 医 学	麻酔科・疼痛医学
	泌尿器科学
	救急・災害医学
	放射線医学
	臨床検査医学
	臨床薬剤学
	臨床病理学
生 殖 ・ 発 育 医 学	小児科学
	産科婦人科学

3. 入学時期

本選抜試験の対象となる入学時期は、「令和4年10月」である。

4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び令和4年9月末日までに該当する見込みの者も可とする。

- ① 大学における医学，歯学又は修業年限6年の薬学，獣医学を履修する課程を卒業した者
- ② 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者
- ④ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 医学又は歯学以外の大学院研究科において修士課程を修了した者等文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
- ⑦ 大学（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し，又は外国において学校教育における16年の課程（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し，本研究科において，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑧ 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学における医学，歯学又は修業年限6年の薬学，獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達した者及び令和4年10月1日までに24歳に達する者

注) 医師の資格を有しない者は，大学院において研究を遂行する際に，医師の資格が必要な臨床研究等を行うことはできません。

5. 出願資格の認定

出願資格⑥及び⑧のいずれかにより出願しようとする者は，次に示すとおりです。出願に先立ち，事前に出願資格の審査を受け，出願資格の認定を受ける必要がありますので，関係書類を指定された期間に提出してください。

- 出願資格⑥に定める「文部科学大臣の指定した者」とは次のいずれかの要件を満たす者をいう。
- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
 - ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本大学院において、大学の医学、歯学、薬学のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ④ 大学（医学、歯学、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ⑤ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 出願資格⑧に定める「本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」とは、短期大学、高等専門学校、専門学校等の卒業者や外国大学日本分校等の修了者等で、
- ① 大学の研究生等としての研究歴を有する者
 - ② 実務経験等を通じ医学分野について一定の資質・能力を有する者
- 等大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者をいう。

(1) 出願資格審査に必要な提出書類

提出書類等	出願資格		摘 要
	⑥	⑧	
出願資格審査申請書	○	○	本学所定の用紙
履歴書（出願資格審査用）	○	○	本学所定の用紙
研究歴証明書	○	○	本学所定の用紙
大学(大学院)の卒業(修了)証明書	○		出身大学(研究科)長が作成し、厳封したもの。
最終学歴の卒業(修了)証明書及び成績証明書		○	出身学校長等が作成し、厳封したもの。
研究業績	○	○	論文等の目録及び別刷
返信用封筒（結果通知書）	○	○	694円切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に本人の郵便番号、住所、氏名を記載してください。

(2) 出願資格審査書類の提出期間と結果通知

	提出期間	審査結果
秋季 入学	令和4年5月23日(月)～令和4年5月24日(火)17時まで(必着)	令和4年6月8日(水)までに審査結果を本人に郵送します。

(3) 提出方法

- 持参の場合 受付は、平日9時から17時までとします。
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係(医学部教育・福利棟2階)
- 郵送の場合 提出期間最終日までに必着とします。
「簡易書留」で、封筒の表に「医学系研究科医科学専攻出願資格審査申請書在中」と朱書きし、郵送してください。

(4) 提出先及び問合せ先

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係
電話 058(230)6079(直通)

(5) その他

必要に応じ、面接(口述試験)を実施することがあります。この場合には事前に志願者に連絡します。

6. 出願手続

(1) 出願期間及び時間

	出願期間等	備考
秋季 入学	令和4年6月9日(木)～6月10日(金)各日とも9時から17時まで	郵送の場合は、令和4年6月10日(金)必着とします。

(2) 出願方法

出願を希望する者は、あらかじめ希望する分野の研究指導教員に相談のうえ、出願してください。

持参の場合 受付は、平日9時から17時までとします。
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係(医学部教育・福利棟2階)

郵送の場合 提出期間最終日までに必着とします。
「簡易書留」で、封筒の表に「医学系研究科医科学専攻出願書類在中」と朱書きし、下記あてに郵送してください。

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係
電話 058(230)6079(直通)

(3) 出願書類等

書類等	摘要
① 入学志願票・写真票・受験履歴書	本学所定の用紙を使用してください。 写真は出願前3か月以内に撮影したもの(上半身・無帽・正面向き、縦4cm×横3cm)を貼付してください。
② 成績証明書(又は志望理由書)	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの。 (岐阜大学医学部医学科を卒業又は卒業見込の者・出願資格認定時に提出済みの者は不要)
③ 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。 (岐阜大学医学部医学科を卒業又は卒業見込の者・出願資格認定時に提出済みの者は不要)

<p>検 定 料 (30,000円) ④ (令和4年10月に本学大学院博士前期(修士)課程修了見込みの者は不要。)</p>	<p>本学所定の「岐阜大学検定料振込依頼書」等に必要事項を記入し、最寄りの銀行等「電信扱」が利用できる金融機関の窓口で振込のうえ、取扱収納印の押された「納入書」を提出してください。手数料は本人負担です。 また、この検定料の振込は「電信扱」となっていますので、出願最終日に振込む場合は、午前中までに行ってください。(午後では取り扱いできない銀行もありますので注意してください。)</p>
<p>⑤ 受 験 承 認 書</p>	<p>現に在職中の者は、本学所定の用紙により、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。</p>
<p>⑥ 外 国 語 試 験 申 込 書 受 験 票 ・ 写 真 票</p>	<p>所定の用紙に記入のうえ、写真(出願前3か月以内に撮影した、上半身・無帽・正面向き、縦5cm×横4cm)を貼付してください。</p>
<p>⑦ 住 民 票 の 写 し (外 国 人 の み)</p>	<p>市区町村発行のもの。登録していない場合は、パスポートの写し(本人氏名、生年月日、性別、在留資格の掲載がある部分及び日本国査証の部分。)</p>
<p>⑧ 返 信 用 封 筒 (受 験 票 等 送 付 用)</p>	<p>郵送により受験票の交付を希望する者は、長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、簡易書留相当の郵便切手(404円)を貼付して提出してください。</p>
<p>⑨ TOEIC® 公開テストの スコアシート又は、 T O E F L ® の ス コ ア シ ー ト (原 本) *TOEIC / TOEFL 換算 希 望 者 の み</p>	<p>出願時に提出可能なものに限り、両方を受験した者は、いずれかを提出してください。なお、提出した原本は原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、サイズに見合う返信用封筒に送料分の郵便切手を貼り受取り先の住所・宛名を記入して出願書類に同封してください。試験終了後に返送します。</p>

注1) 出願資格審査申請時に提出済みの書類は、不要です。

注2) ⑨のTOEIC® 公開テストのスコアシート又は、T O E F L ® のスコアシートはTOEIC / TOEFL換算希望者のみ提出してください。

詳細については、医学系研究科・医学部医学科学務係にお問い合わせください。

(4) 検定料返還に関する留意事項

① 次の場合を除き、一旦領収した検定料は原則として返還しません。

- a 出願書類が受理されなかった場合
- b 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- c 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合

② 返還請求の方法

次のa～fを明記した検定料返戻請求書を作成し、「岐阜大学検定料振込金(兼手数料)受領書」を添付して、岐阜大学医学系研究科・医学部医学科学務係(〒501-1194 岐阜市柳戸1番1)まで郵送してください。(封筒には「検定料返戻請求書 在中」と朱書きしてください。)

なお、返還請求は下記③の期間内をお願いします。

- a 返還請求の理由
- b 志願者氏名(フリガナ)、押印
- c 現住所
- d 連絡先電話番号
- e 志願専攻名等
- f 検定料を受け取る銀行名、支店名、預貯金種別、口座番号、口座名義(フリガナ)

③ 返還請求期間

秋季入学：令和4年6月13日(月)～6月17日(金)

『大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除について』

岐阜大学では、大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行います。

詳細は岐阜大学のホームページ(<https://www.gifu-u.ac.jp>)を参照してください。

該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出してください。

7. 入学者選抜方法

(1) 試験期日

	外国語（英語）	専門科目（口述試験）	外国人志願者の面接試験
秋季 入学	令和4年6月22日（水） 17時30分～19時30分	令和4年6月22日（水）～6 月24日（金）の指導教員の指 定した日時	令和4年6月22日（水） 15時～

【外国語（英語）試験に関する注意事項】

- 注1) 過去に岐阜大学医学（系）研究科が実施した外国語試験（英語）に合格している場合には、本選抜試験の外国語（英語）試験を受験する必要がありません。
- 注2) 外国語（英語）試験は、辞書の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書の持ち込みは不可です。
- 注3) TOEIC 800点以上又はTOEFL{ (iBT) 79点以上 }のいずれかの成績証明書を提出することにより、本選抜試験の外国語（英語）試験に換算することができます。
成績証明書は、出願する年度の前々年度の4月以降に受験したTOEIC又はTOEFL (iBT) の成績を証明されたものに限ります。

(2) 試験場

岐阜大学医学部本館（岐阜市柳戸1番1）

(3) 選抜方法

入学者の選抜は、外国語（英語）、専門科目（口述試験）及び出願書類等の結果に基づいて、総合的に選抜します。

① 配点

外国語（英語）	専門科目（口述試験）
100	100

② 欠格事項

外国語（英語）及び専門科目（口述試験）の得点が、いずれか1科目でも60点未満の場合は、合格対象としません。

8. 合格者発表

秋季 入学	令和4年7月27日（水）正午
----------	----------------

岐阜大学ホームページ及び岐阜大学医学部教育・福利棟2階玄関ホールに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に対しては合格通知書を送付します。

9. 入学手続

- (1) 入学手続関係書類の送付について
合格発表日以降に『入学手続案内』を送付します。
- (2) 入学料及び授業料について

入 学 料	282,000円 (予定額)
-------	----------------

なお、本学大学院修士（博士前期）課程修了見込みの者で、引き続き本研究科へ入学する場合又は国費外国人留学生（文部科学省奨学金受給者）は不要ですので、その旨申し出ること。

授 業 料 (前学期分)	267,900円 (年額535,800円) (予定額)
--------------	-----------------------------

- ① 後学期分の授業料は、11月に口座振替にて納入していただきます。
- ② 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな料金が適用されます。
- ※入学料及び授業料は、徴収猶予及び納付免除制度があります。
詳しくは『入学手続案内』をご覧ください。

10. 入試結果の情報開示

(1) 開示内容

受験者本人からの請求に基づき、本人の得点（合否判定に使用した合計点）の開示及び合格者の試験成績（最高点、平均点、最低点）の公表を併せて行います。ただし、合格者が10人以下の場合は、最低点の公表は行いません。また、合格者が4人以下の場合は、本人の得点のみを開示し、合格者の試験成績の公表は行いません。

(2) 開示の請求方法

- 請求できるもの 本人に限ります。
- 請求期間 合格発表後1か月間
(請求用紙の配布も同日以降とします。)
- 請求方法 請求先（入試課）の窓口を持ち込むか郵送してください。
- 請求先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学学務部入試課
- 必要書類
- ・岐阜大学入試情報開示請求書
 - ・岐阜大学受験票（コピー不可、開示の際にお返しします。)
 - ・返信用封筒（開示通知書送付用）
長形3号封筒に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、404円分の切手（簡易書留料金）を貼付してください。
- 開示請求書用紙の入手
- ・次のいずれかの方法で入手できます。
- ①入試課の窓口で受け取る。（平日9時から17時まで）
- ②郵便で請求する。
返信用封筒（長形3号の封筒に84円切手貼付）を「請求先」あてに送ってください。

(3) 開示方法

本人に開示決定通知書を郵送します。
請求受付後、開示までに約1か月を要しますので、あらかじめ了承願います。

1 1. 個人情報の取扱い

入学願書等に記載された個人情報は、入学者選抜の実施のほか、入学後の管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜に係る統計・調査・分析（ただし、個人識別ができない状態で行う。）業務等を行う目的をもって本学が管理します。これ以外に、出願者の個人情報を利用する場合は、書面により出願者の同意を得ることとします。

II. 障害のある者等の出願にあたっての事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱等）があり、受験上特別な配慮を必要とする場合は、下記の書類を添えて出願受付開始の1か月前までに下記の間合せ先へ相談してください。

- a 障害者等受験上の配慮申請書（本学所定の用紙）
- b 医師の診断書又は身体障害者手帳の写し

※本学所定の用紙の請求方法

障害者等受験上の配慮申請書の用紙を請求する場合は、返信用封筒として「長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）」にあなたの受信住所、郵便番号、氏名を記入の上、84円切手を貼付し、これを折りたたんでも構いませんので、定型内の封筒に入れ、表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書し、下記へ申し込んでください。

間合せ先

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係

電話 058(230)6079(直通)

III 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

1. 趣旨

技術革新が加速し、また、労働時間が短縮され就業状態も柔軟化されており、リフレッシュの必要性や自己啓発が叫ばれる今、社会人の再教育に対する需要が大きくなっています。

このことは、医学・医療の立場においても例外ではなく、就学するためには幾つかの大きなハードルを越えなければなりません。

そこで、本研究科では次の措置を講ずることにより、*大学院設置基準第14条特例の昼夜開講制による授業を実施しています。昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に実地診療に当たっている医師、企業に勤務している社会人技術者、教育者及び研究者等の社会人に大学院の授業、研究指導をより受け易くする制度です。

(※) 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

2. 修了要件、昼夜開講による履修方法及び授業の実施方法

1. 博士課程の修了要件は、医科学専攻に4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することです。

ただし、特に優れた研究業績を上げた者の在学期間については、3年以上在学すれば足りるものとします。

2. 教育方法の特例による教育を受ける学生は、主として、第6限(17:50~19:20)と第7限(19:30~21:00)の時間帯に授業を受けることとなりますが、必要に応じ、土曜日(8:50~12:00)開講等を行います。

研究指導教員及び研究内容

講座	分野	指導教員	研究内容
生命 原 理 学	解剖学	千田 隆夫 Tel 058-230-6294 E-mail: tsenda@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. Wnt シグナル伝達系の機能と制御 2. APC 遺伝子 (APC 蛋白質) の形態形成における役割 3. アルツハイマー病 (認知症) の発症と予防機構の解明 4. がん微小環境における分泌膜小胞を介した細胞間コミュニケーションの解明
	生理学	任 書晃 Tel:058-230-6303 E-mail: nin@gifu-u.ac.jp	生理学教室では、内耳で音刺激が受容されるメカニズムや、重力をはじめとした前庭の刺激が自律神経を介して生体に与える影響を、電気生理学・生物物理学・光遺伝学・免疫組織化学を総合的に駆使して研究しています。工学 (特に光学) との異分野連携を通じた学際的アプローチが研究室の特色です。詳細は、 https://ninlab.weebly.com
	分子病態学	長岡 仁 Tel 058-230-6206 E-mail: gumpb@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗体記憶形成・維持の分子機構の解明 2. B リンパ球最終分化時の運命決定機構の研究 3. 抗体遺伝子変異の分子機構の研究
	神経生物学	中川 敏幸 Tel:058-230-6483 E-mail: tnakagaw@gifu-u.ac.jp	<p>神経科学領域において、神経幹細胞の増殖・分化誘導とアポトーシス (変性) 機構の解明は神経疾患の治療法の開発にとり重要な課題である。</p> <p>当研究室では、アポトーシスと小胞体ストレスシグナルを制御する遺伝子及びファイトケミカルを同定し、培養細胞から固体レベルでの作用機構について、分子生物学、細胞生物学、及びマウス遺伝学を駆使して研究を行う。</p> <p>特に、アルツハイマー病に代表される神経変性疾患の発症機構の解明と予防法の開発について取り組む。</p>
	薬理病態学	小澤 修 Tel 058-230-6214 E-mail: okozawa@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストレス応答のメカニズムの解明と低分子量ストレス蛋白質の役割の解明 2. 骨粗鬆症の病態の解明と薬物の影響 3. 骨芽細胞の細胞内情報伝達機構の解明と骨調節因子の作用機序の解明 4. 肝細胞の細胞内情報伝達機構の解明と薬物の影響 5. 神経細胞がんの細胞内情報伝達機構の解明と薬物の影響 6. 代謝性疾患における血小板機能に関する研究
	再生機能医学	未 定	<p>胚性幹細胞 (ES 細胞)・iPS 細胞を含む幹細胞から組織・器官形成に至る細胞の増殖・分化のメカニズムについて、細胞生物学的手法と分子生物学的手法を用いて研究を行う。特定の細胞・組織・臓器にとらわれることなく、幹細胞からの組織・臓器の形成過程と幹細胞自身の分化・増殖・自己再生機構の解析を通して、再生現象の分子制御機構の最終的な解明に向けて教育・研究を行う。ヒト ES 細胞・iPS 細胞から組織・臓器を誘導し再生医療へ適用する研究も進めている。</p> <p>詳細は http://www.med.gifu-u.ac.jp/saisei/</p>

講座	分野	指導教員	研究内容
生命秩序学	高次神経形態学	山口 瞬 TEL 058-230-6248 E-mail: shunyama@gifu-u. ac. jp	1. 記憶・学習のメカニズムの解明 2. 蛍光タンパク質発現トランスジェニックマウスを用いた脳機能イメージング 3. 体内時計に関する研究 4. 遺伝子工学および光学を用いた生体现象の可視化 5. 神経細胞の老化メカニズムの解明 6. 生体組織の透明化
	細胞情報学	中島 茂 TEL 058-230-6200 E-mail : bio@gifu-u. ac. jp	1. 細胞周期制御の分子メカニズム 2. 発がんの分子メカニズム 3. 細胞の生と死のシグナル 4. 細胞のストレス応答 5. ポリフェノールのシグナル応答への作用の解析
	形態機能病理学	竹内 保 TEL 058-230-6361 E-mail: takeutit@gifu-u. ac. jp	1. 分子生物学技術の診断病理学への応用の研究 2. クロマチン再構成複合体異常がもたらす腫瘍発生の研究 3. 癌発生・増殖に関わる癌・間質相互作用の分子病理学的研究
	法医学	道上 知美 TEL 058-230-6418 E-mail: tmichi@gifu-u. ac. jp	1. 突然死に関する病理学的研究 2. 致死傷病発生後の生体反応に関する研究 3. 種々の病態における死後生化学検査に関する研究 4. DNA 多型に関する研究
	生命機能分子設計学	大沢匡毅 Tel:058-230-6502 E-mail: masaosaw@gifu-u. ac. jp	1. 皮膚上皮幹細胞の制御機構の解明 2. メラノサイトの幹細胞の発生機構の探索 3. 毛包の形成機構の解明 4. 遺伝子改変マウス作製法の開発
生命関係学	寄生虫学・感染学	前川 洋一 TEL058-230-6365 E-mail: ymaekawa@gifu-u. ac. jp	1. 免疫記憶 T 細胞の分化機構に関する研究 2. 免疫応答における代謝機構の役割 3. IgA 産生制御と疾患の関連についての研究 4. 抗マラリア薬治療における宿主免疫系の役割 5. 旋毛虫感染の病態生理の解明とその応用研究
	病原体制御学	永井 宏樹 TEL 058-230-6488 E-mail: hnagai@gifu-u. ac. jp	1. 細菌感染の分子基盤 2. 細菌とその宿主をめぐる微生物生態系 3. 細菌病原性の起源と進化
	腫瘍病理学	原 明 TEL 058-230-6225 E-mail: ahara@gifu-u. ac. jp	1. 悪性腫瘍動物モデルを使った腫瘍発生・増殖のメカニズムの解明 2. ヒト臨床検体を用いた悪性腫瘍の病理組織学的解析 3. 毛細血管と疾患との関連メカニズムの研究
	疫学・予防医学	永田 知里 TEL 058-230-6411 E-mail: chisato@gifu-u. ac. jp	1. がんの疫学研究 2. 生活習慣病の疫学研究 3. 栄養疫学研究 4. 子どもの健康 5. 女性の健康 6. 行動医学

講座	分野	指導教員	研究内容
生命関係学	医学系倫理・社会医学	塚田 敬義 Tel:058-230-6530 E-mail: tsukata@gifu-u.ac.jp	1978年に「バイオエシックス百科事典」が出版されており、その頃に「生命倫理学」が成立したといわれている。もとより医の倫理学は、安楽死、脳死・臓器移植、人工妊娠中絶など、従来の医療行為の中では禁止されていた行為の許容基準を明らかにする目的で集約されてきたと解される。ところが、昨今クローン個体問題が浮上し、生命倫理の重心が個人の自己決定から公共選択に移動してきており、そこにはアメリカ型とヨーロッパ型の違いが明らかになってきている。医学・医療の実際を知る者が、医科学に伴う全ての倫理的、社会医学的な問題をターゲットとして、日本での然るべき生命倫理を考究すべくその教育・研究を行う。
	産業衛生学	永田 知里 TEL 058-230-6411 E-mail: chisato@gifu-u.ac.jp	1. 物理的環境刺激の生体影響に関する研究 2. 職場のメンタルヘルスに関する研究 3. 屋外労働の快適化に関する研究
	医学教育学	藤崎 和彦 TEL 058-230-6467 E-mail: kfuji@gifu-u.ac.jp	1. カリキュラム開発と学生評価法の研究 2. コミュニケーション教育に関する研究 3. 能動的問題基盤型学習に関する研究 4. Professionalism 教育に関する研究 5. 地域基盤型医学教育に関する研究 6. シミュレーション医学教育に関する研究 7. 医学教育指導者の育成に関する研究
	医療経済学	永田 知里 TEL 058-230-6411 E-mail: chisato@gifu-u.ac.jp	1. 医療における生産性及び効率性に関する研究 2. 予防医療に対する需要分析 3. 手術待機期間に関する研究 4. レセプト情報分析
内科学	消化器内科学	清水 雅仁 TEL: 058-230-6308 E-mail: shimim@gifu-u.ac.jp	1. 急性・慢性肝不全の病態と治療に関する研究 2. 核内受容体を分子標的とした発癌予防・癌の分化誘導療法に関する基礎的・臨床的研究 3. 天然化合物を用いた消化器発癌予防に関する研究 4. 炎症・肥満・代謝異常に関連した消化器発癌機序の解明とその抑制 5. 肝発癌早期診断に繋がる b i o m a r k e r の検索 6. 消化器癌の内視鏡的診断・治療に関する研究
	臨床腫瘍学	清水 雅仁 TEL: 058-230-6308 E-mail: shimim@gifu-u.ac.jp	1. がん化学療法理論と有害事象 2. 主要がんの化学療法および管理法 3. 臨床試験の実際 4. がんにおける緩和医療

講座	分野	指導教員	研究内容
内科学	循環器内科学	大倉 宏之 Tel:058-230-6520 E-mail: hokura@gifu-u.ac.jp	1. 心不全の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究 2. 虚血心筋保護のメカニズム解明と治療薬開発に関する研究 3. 不整脈の先進的治療に関する研究 4. 動脈硬化の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究 5. 高血圧・高脂血症の成因と治療に関する研究 6. 循環器疾患に対する再生医学・再生医療
	呼吸器内科学	大倉 宏之 Tel:058-230-6520 E-mail: hokura@gifu-u.ac.jp	1. 肺癌の病態解明と治療薬開発のための分子生物学的研究 2. 呼吸器疾患の先進的画像診断法の開発に関する研究 3. COPDの病態解明と治療薬開発のための基礎的・臨床的研究 4. 呼吸器感染症における薬物動態と有効性評価に関する臨床的研究 5. 呼吸器疾患に対する再生医学・再生医療
	血液・感染症内科学	清水 雅仁 TEL: 058-230-6308 E-mail: shimim@gifu-u.ac.jp	1. 悪性リンパ腫のリスクに応じた層別化治療の確立 2. 造血器悪性腫瘍の予後因子の同定と標的治療の探索 3. 高齢者造血器疾患の客観的評価と至適治療の開発 4. 造血器悪性腫瘍に対する造血幹細胞移植術の前処置の開発 5. 移植片対宿主病 (GVHD) に対する新規治療の開発
	糖尿病・内分泌代謝内科学	矢部 大介 TEL 058-230-6371 E-mail: ydaisuke@gifu-u.ac.jp	1. 糖尿病に代表される生活習慣病に関する研究 1-1. 成因及び病態に関する分子生理学的研究 1-2. 分子遺伝学的診断に関する研究 1-3. 栄養学的予防・治療に関する研究 1-4. 新規治療法の開発と安全性・有効性に関する研究 1-5. 患者教育・支援に関する研究 2. 内分泌疾患に関する研究 2-1. 下垂体・副腎疾患の診断と治療に関する研究 2-2. 甲状腺疾患の診断と治療に関する研究 2-3. 神経内分泌腫瘍の成因と治療に関する研究
	膠原病・免疫内科学	矢部 大介 TEL 058-230-6371 E-mail: ydaisuke@gifu-u.ac.jp	1. リウマチ・膠原病の成因及び病態に関する研究 2. リウマチ・膠原病の診断・治療に関する研究 3. リウマチ・膠原病に対する新規治療法の開発と安全性・有効性に関する研究
	腎臓内科学	大倉 宏之 Tel:058-230-6520 E-mail: hokura@gifu-u.ac.jp	1. 動脈硬化の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究 2. 高血圧・高脂血症の成因と治療に関する研究 3. 腎疾患の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究

講座	分野	指導教員	研究内容
内科学	総合診療科・総合内科学	森田 浩之 Tel 058-230-6632 E-mail : hmorita@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脂肪細胞増殖・分化に関する研究 2. 膠原病の治療と合併症に関する研究 3. ステロイド糖尿病の予測診断と治療に関する研究 4. ステロイド骨粗鬆症に関する研究 5. 頸動脈エコーによる動脈硬化度定量に関する研究 6. 難病の遠隔医療に関する研究 7. 発熱疾患の鑑別に関する研究
	心臓血管外科学	土井 潔 Tel:058-230-6320 E-mail: kdoi@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心臓血管における低侵襲手術に関する臨床研究 2. 心臓血管における臓器再生に関する研究 3. 心臓血管手術前後の生理機能の変化に関する研究 4. バイパス術後の虚血改善領域に関する研究
	呼吸器外科学	岩田 尚 Tel:058-230-6503 E-mail: ihisashi@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器外科におけるロボット支援下手術を含む低侵襲手術に関する臨床研究 2. 肺癌の病理学的免疫機構の解明に関する基礎研究 3. 肺癌における腫瘍抗原の解明と免疫応答機構に関する基礎研究 4. 手術デバイスの開発に関する臨床研究 5. 医療技術習熟用シミュレータの開発
外科学	消化器外科・小児外科学	未定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食道癌・胃癌・大腸癌・肝臓癌・膵臓癌の低侵襲手術（腹腔鏡およびロボット）の臨床研究 2. 消化器癌の化学療法および分子標的薬剤におけるトランスレーショナル・リサーチ（線虫試験 N-NOSE を含む） 3. 消化器癌における周術期栄養療法とその効果（食道癌：EPOC 試験を含む） 4. 消化器癌のゲノム医療（SCRUM Japan GI-SCREEN） 5. 消化器癌におけるリキッドバイオプシーによるゲノム解析の有用性（GOZILA MONSTAR-SCREEN） 6. 消化器癌におけるナビゲーション・サージェリーの有用性 7. 消化器癌における抗癌剤耐性（5FU 耐性など）のメカニズム 8. 消化器癌発癌機構の分子生物学的検討と臨床応用 9. 消化器癌におけるコンバージョン・サージェリーの臨床研究（EORTC DREAM 試験を含む） 10. 高齢者消化器癌における薬物療法における臨床研究（胃癌：JCOG 試験を含む） 11. 食道癌・胃癌・大腸癌における薬物療法および手術療法における有効性における臨床研究（JCOG Group を含む）

講座	分野	指導教員	研究内容
外科学	乳腺外科学	未定	<ol style="list-style-type: none"> 1. ラジオ波焼灼療法 (RFA) を用いた、乳房温存療法に関する臨床研究 2. バーチャルソノグラフィを用いた乳癌診断、ならびに乳癌薬物療法の非侵襲的評価法の開発。 3. 若年乳がん患者に対する、妊孕性温存およびカウンセリングの有用性の検討 4. HER2 乳癌術前療法における新規プロトコルの開発 5. 乳癌薬物療法の耐性機序解明に関する基礎的研究 6. Warburg 効果と癌、癌代謝を利用した癌診断および癌治療法開発のための基礎的研究 7. 癌微小循環に関する、基礎的臨床的研究 8. AI を用いた乳腺超音波診断の開発
	脳神経内科学	下畑 享良 TEL 058-230-6251 E-mail: shimohata@gmail.com	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経障害機序の解明と再生修復・神経保護薬の開発 2. 免疫性神経疾患の成因と治療に関する研究 3. 神経変性疾患の分子病態と治療法の開発 4. 認知症の診断と治療に関する研究 5. 高齢者及び神経難病の医療・福祉に関する研究
	脳神経外科学	岩間 亨 TEL 058-230-6269 E-mail: tiwama@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 悪性脳腫瘍の病態と治療に関する研究 2. 脳卒中の病態と治療 3. MRI, PET による高次脳機能の解析 4. 神経細胞再生, 移植
	脳病態解析学 (連携大学院)	篠田 淳 TEL 0574-24-2233 (独)自動車事故対策機構中部療護センター E-mail: junshino@joy.ocn.ne.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遷延性意識障害・高次脳機能障害・その他臨床神経科学領域の疾患等の病態評価と治療に関する研究 2. PET, SPECT を用いて脳の機能解析, MRI を用いて脳の形態解析を行い, 病態を評価し, それらの画像データを治療効果判定に応用する。
脳神経科学	精神医学	塩入 俊樹 TEL 058-230-6259 E-mail: shioiri@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神疾患の脳機能画像研究 2. 精神疾患の自律神経研究 3. 精神科診断学に関する研究 4. 発達障害の疫学研究 5. 災害精神医学に関する研究
	整形外科学	秋山 治彦 TEL 058-230-6330 E-mail: hakiyama@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関節軟骨再生治療に向けた基盤研究 2. 骨粗鬆症・骨疾患の病態と治療に関する研究 3. 骨軟部腫瘍に対する分子制御治療に関する研究 4. 脊椎椎間板再生に向けた基盤研究 5. 運動器疾患のコンピューター動作解析研究 6. ミトコンドリアエネルギー代謝と骨格の老化に関する研究 7. 特発性大腿骨頭壊死症に対する新規治療法の開発
感覚運動医学	リハビリテーション学	秋山 治彦 TEL 058-230-6330 E-mail: hakiyama@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 足圧・歩行解析による高齢者の転倒リスクの研究 2. 動作解析に基づく疾患別・スポーツへの効果的リハビリテーションの研究 3. ロボット装具によるリハビリ支援の研究 4. 効果的な筋力増強訓練の研究 5. 遠隔リハビリテーションの研究

講座	分野	指導教員	研究内容
	皮膚科学	岩田 浩明 TEL 058-230-6390 E-mail: hiriwata@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乾癬治療法の開発研究 2. 水疱症の発症機序の解明・新規治療開発 3. 膠原病の発症病理の分子学的研究 4. アトピー性皮膚炎の病態と皮膚バリア治療に関する研究 5. 皮膚悪性腫瘍の診断と治療に関する基礎的及び臨床的研究 6. 皮膚感染症の原因微生物同定法の研究 7. 皮膚バリアの形成・維持機構の解明
	形成外科学	小川 武則 TEL 058-230-6276 E-mail: ogawa@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部再建法の適正化についての AI 診断、コンピューター支援手術の研究 2. 自家脂肪注入による乳癌手術後の乳房再建 3. その他、幹細胞移植などの新再建法 4. 遊離皮弁生着に関わる微小循環、移植床に関する研究
感覚運動医学	眼科学	坂口 裕和 TEL 058-230-6284 E-mail: sakaguh@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人工硝子体、抗 VEGF 薬徐放基剤の開発 2. 網膜硝子体疾患に対する手術を中心とした新規治療法、診断方法の開発 3. 眼感染症における網羅的 PCR の有用性 4. 眼疾患における DNA、RNA、タンパク質、細胞の網羅的解析 5. AI を用いた緑内障と正常者との判別 6. 緑内障性視神経障害の画像解析法による検討 7. 緑内障手術における代謝拮抗薬の応用に関する研究
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小川 武則 TEL 058-230-6276 E-mail: ogawa@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部腫瘍個別化治療に向けたエピゲノム解析 2. 抗がん剤耐性メカニズムの解析 3. がん微小環境因子と免疫状態との関連性 4. 頭頸部癌治療後音声、嚥下障害に対する臨床研究 5. メニエール病の病態解明と新規治療の開発 6. 前庭障害のリハビリテーションに関する研究
	口腔外科学	山田 陽一 TEL 058-230-6353 E-mail: yoyamada@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 間葉系幹細胞を用いた臨床応用・再生医療実用化に向けた開発研究 2. 口腔領域における低侵襲治療の開発 3. 歯髄由来幹細胞および細胞外小胞の機能解明 4. ES/iPS 細胞による研究 5. AI を用いた診断・治療技術の開発 6. 口腔癌に対する新規治療法の開発 7. ナビゲーションシステムを用いたガイドドサージェリーの開発
生体管理医学	麻酔科・疼痛医学	未定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳・脊髄微小循環に対する麻酔薬及び麻酔関連薬の影響の研究 2. 血管内皮機能と酸化ストレスに関する研究 3. 周術期の血小板機能に関する研究 4. 難治性疼痛制御に関する研究 5. グリア細胞における細胞内情報伝達に関する研究
	泌尿器科学	古家 琢也 TEL 058-230-6337 E-mail: goodwin@gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> 1. 尿路性器悪性腫瘍の基礎的・臨床的研究 2. 排尿障害に対する臨床的研究 3. 泌尿器科領域のロボット手術手技の開発研究 4. 腎移植における臨床的研究 5. 尿路性器感染症の基礎的・臨床的研究

講座	分野	指導教員	研究内容
	救急・災害医学	小倉 真治 TEL 058-230-6446 E-mail: oguras@gifu-u.ac.jp	1. 救急災害医療体制の研究 2. 救急医療情報の研究 3. 敗血症性ショックの研究 4. 外傷に関する研究 5. 航空医療に関する研究 6. 微小血管障害に対する超微形態学的考察 7. ホーミングペプチドを用いた新規敗血症治療の開発 8. 血栓症に関する研究 9. 生活習慣病における感染症の重症化要因の研究
	放射線医学	松尾 政之 TEL 058-230-6437 E-mail: matsuo_m@gifu-u.ac.jp	1. 核医学による癌の診断・脳機能測定 2. 肺癌および腹部の画像診断 3. Interventional Radiology 4. 悪性腫瘍に対する定位放射線治療, IMRT, IGRT 5. コンピュータ支援診断 (CAD) 6. 放射線生物学
	臨床検査医学	未定	1. 慢性B型肝炎ワクチンの開発研究 2. 既存ワクチンの新規アジュバント検索 3. 免疫増強効果のメカニズム解析
	臨床薬理学	鈴木 昭夫 TEL 058-230-7080 E-mail: akio@gifu-u.ac.jp	1. 医薬品による副作用の発現機構と対策に関する研究 2. 治療的薬物血中濃度モニタリングに関する研究 3. 薬学的ケアの有用性に関する臨床研究 4. 抗菌薬適正使用推進 (antimicrobial stewardship) のアウトカム評価に関する研究 5. 医薬品の新規剤型開発に関する研究
	臨床病理学	原 明 TEL 058-230-6225 E-mail: ahara@gifu-u.ac.jp	1. 以下の病理診断に関わる研究 ・ 細胞診断 ・ 生検組織診断 ・ 手術で摘出された臓器/組織の診断 ・ 手術中の迅速診断 ・ 病理解剖 2. 病理検体のゲノム診断への応用研究
生殖・ 発育 医学	小児科学	大西 秀典 TEL 058-230-6380 E-mail: ohnishih@gifu-u.ac.jp	1. 原発性免疫不全症の病態解明研究 2. 遺伝性自己炎症性疾患の病態解明研究 3. アレルギー疾患の病態解明研究 4. アレルギー疾患の予防、治療研究 5. 先天代謝異常症の病態解明研究 6. 先天代謝異常症の治療開発研究 7. 小児腫瘍性疾患の病態解明研究
	産科婦人科学	未定	1. 婦人科癌における抗癌剤耐性メカニズムの解析 2. 婦人科癌におけるフェロトーシスの治療応用 3. 婦人科がんの低侵襲手術の臨床研究 4. 産科出血治療における IVR の臨床研究 5. がん生殖医療のための臨床研究

VI 過去5年間の入試統計

事項 年度	募集人員	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数	
平成29年度	47	44	(14) <42> 《1》	44	(14) <42> 《1》	43	(14) <42> 《1》	43	(14) <42> 《1》
平成30年度	47	29	(7) <29> 《0》	29	(7) <29> 《0》	24	(6) <24> 《0》	24	(6) <24> 《0》
平成31年度	47	40	(12) <37> 《3》	40	(12) <37> 《3》	34	(9) <31> 《3》	32	(8) <30> 《2》
令和2年度	47	47	(15) <44> 《2》	47	(15) <44> 《2》	45	(13) <42> 《2》	45	(13) <42> 《2》
令和3年度	47	42	(7) <40> 《1》	42	(7) <40> 《1》	38	(7) <40> 《1》	38 (注)	(7) <40> 《1》

() は女子, < > は社会人, 《 》 は外国人留学生をすべて内数で表します。

(注) 10月入学者を含む

岐阜大学大学院医学系研究科 医学科学務係

〒501-1194 岐阜市柳戸 1 番 1

電 話: 058-230-6079

ファックス: 058-230-6074